授業科目　栄養教育論実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	健栄
斎藤　トシ子	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までの作業を行い、個人及び小集団への栄養教育計画作成に必要な基本的な技術を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．栄養アセスメントの技術と収集した情報を整理して問題点を抽出する方法を身につける
2．個別教育の手法（コミュニケーション力、カウンセリング力、教材作成など）を身につける
3．小集団教育の手法（プレゼンテーション力、カリキュラム作成・指導案作成法、教材作成法など）を身につける
4．エビデンスに基づく栄養教育の手法を身につける

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーションの方法	2,3	実習
2	ロールプレイ（話し方、聴き取りかたの方法）	2,3	実習
3	プレゼンテーションの方法	2,3	実習
4	栄養アセスメント（身体計測、活動量調査、安静時代謝量測定、その他調査）	1	実習
5	栄養アセスメント（身体計測、活動量調査、安静時代謝量測定、その他調査）	1	実習
6	栄養アセスメント（身体計測、活動量調査、安静時代謝量測定、その他調査）	1	実習
7	問題点の抽出・明確化（個別・小集団）	1	実習
8	個別教育計画の作成	2	実習
9	教材作成	2,3	実習
10	教材発表	2,3	実習
11	小集団教育（カリキュラムの立案）	3	実習
12	小集団教育（指導案の立案）	3	実習
13	小集団教育（指導案の立案）	3	実習
14	エビデンスの収集	4	実習
15	収集したエビデンスの発表	4	実習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	アクティブ栄養指導実習	永野君子	医歯薬出版	2008・2,200円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

1．栄養アセスメントの技術と収集した情報を整理して問題点を抽出する方法を身につけることができたか、2．個別教育の手法（コミュニケーション力、カウンセリング力、教材作成など）を身につけることができたか、3．小集団教育の手法（プレゼンテーション力、カリキュラム作成・指導案作成法、教材作成法など）を身につけることができたか、4．エビデンスに基づく栄養教育の手法を身につけることができたかを、提出物、発表内容から評価する。出欠、実習への意欲・積極性も評価に加える

【履修上の留意点】